

記入上の注意： 行の増減などによって、各枠の大きさを変更しないこと。もとの形式を変えて記入されている場合は、審査の対象にならない場合があります。

「グローバル女性リーダー育成カリキュラムに基づく教育実践と新たな女性リーダー
シップ論の発信」プロジェクト 「学生海外派遣」プログラム
学生海外調査研究 計画調書 (平成 30 年度)

ふりがな 名前		印	所属	人間文化創成科学研究科	専攻
博士後期課程入 (進) 学年度	年度	主たる指導教員			
学年	年				
現住所	〒				
携帯電話番号 (ない場合は必ず連絡が取れる番号)					
大学のEメールアドレス (事務からはここに送信する)			g	@edu.cc.ocha.ac.jp	

(1) 海外調査研究計画

I 海外調査研究課題 (40文字以内)
II 海外調査研究の場所・時期 (期間も含める) ・内容・理由 (どこに行つて、何をするのか、日本国内の調査では不可能な理由などを含め、実施内容や資料名などを、「時間 (期間を含め、年月日で記載する)」「場所」「内容」「理由」に分けて、具体的に記入)
※出国日と帰国日を正確に記入すること。予定の変更は認められません。

記入上の注意： 行の増減などによって、各枠の大きさを変更しないこと。もとの形式を変えて記入されている場合は、審査の対象にならない場合があります。

Ⅲ海外調査研究の目的と必然性

(①今回申請する海外調査研究の目的と必要性、②この調査研究で、何をどこまで明らかにしようとするか、③この海外調査に基づく研究の特色や独創的な点、意義)

Ⅳ従来の研究経過・研究成果又は準備状況 (従来の研究業績と関わらせながら、研究の準備状況を記入。本学の他の海外派遣プログラムに申請中もしくは申請予定であれば、そのプログラム名を記載すること。)

記入上の注意： 行の増減などによって、各枠の大きさを変更しないこと。もとの形式を変えて記入されている場合は、審査の対象にならない場合があります。

V 研究業績（論文、学会発表などの主要な業績5点以内を、新しい業績から、箇条書きにして列挙。著者（申請者を含む）全員の氏名（最大5名程度）を、論文や発表記載と同一の順番で記入。単著・単独発表でも氏名を記載する）

(2) 海外調査研究経費

①総額、②費用別使用内訳（交通費、滞在費）を、千円単位で記入。申請総額は、規定の額を上回ることはできない。

平成30年度	申請総額	_____	千円	（下記内訳に基づいて申請する補助金総額）
	(内訳)		具体的に	
A.	交通費（渡航費）	_____	千円	()
B.	交通費（長距離移動費）	_____	千円	()
C.	滞在費（ホテル代のみ）	_____	千円	()
A+B+C 合計額		_____	千円	（申請総額と異なる場合もある）

※上記すべてについて帰国後、1週間以内に領収書の提示が求められ、適切な経費と判断されるもののみ支給される。

(3) 指導教員あるいはそれに代わる教員の推薦

①学生の研究計画に基づき、必要な海外研究調査であること、②海外研究調査を有意義なものにする優秀な学生であることなどについて、記入してください。

指導教員名	印
-------	---

記入上の注意： 行の増減などによって、各枠の大きさを変更しないこと。もとの形式を変えて記入されている場合は、審査の対象にならない場合があります。

経 歴 調 書

学 歴	
年 月	高等学校卒業
	研究歴・職歴（研究目的の海外渡航のために学内の補助金を受けたことがある場合は、それについても必ず記入）
年 月	
	以上、相違ありません
	名前 印